

次世代にも暮らしやすい持続可能なまちづくりを一緒に考えませんか

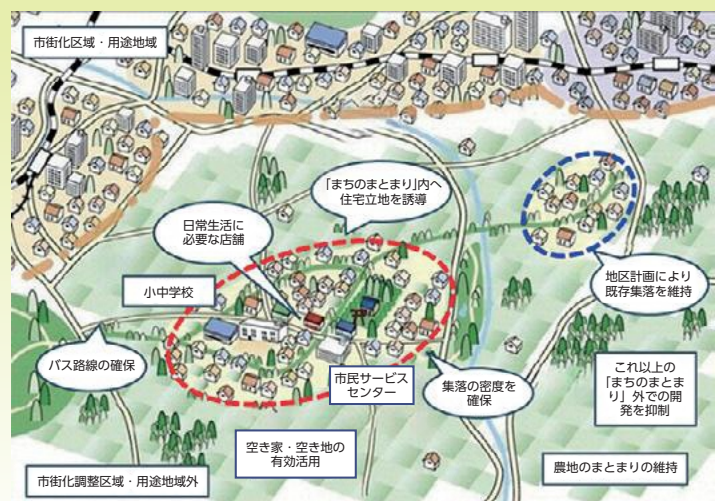
☎ 都市計画課 ☎027-898-6943

人口減少や少子高齢化、公共交通の維持、農地や自然環境の保全などの都市課題に対応するため、「前橋市土地利用のあり方～次世代にも暮らしやすいまちづくりの実現に向けて」を策定しました。



●なぜ今、土地利用を考えるのか？

人口減少や少子高齢化が進む一方で、住宅や店舗などの郊外立地が進み、市街地が広がり続けています。人口が減る中で市街地の拡大が進むと、道路や上下水道などのインフラ維持や、公共交通をはじめとする生活サービスの確保が難しくなることが懸念されます。こうした課題に対応するため、現在のまちの魅力や機能を生かした、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めます。



「まちのまとまり」の形成イメージ

●次世代にも暮らしやすいまちづくり

今後はこの考え方にに基づき、公共交通と連携しながら、生活に必要な機能が身近にそろった「まちのまとまり」の形成を進めます。また、将来を見据えた土地利用への転換を図り、次世代にも暮らしやすい持続可能なまちづくりを進めます。

次世代にも暮らしやすいまちづくりを考えるシンポジウム

これからの本市のまちづくりについて市民と考える対話型シンポジウムを開催します。子連れでの参加も歓迎。ベビーカーでの来場や途中入退場も可能です。

☎ 10月16日(金) 18時～20時

📍 JOMO スクエア (古市町一丁目)

👤 一般、先着 70 人

📅 10月14日(水)までに二次元コードの申し込みフォームで



空き家の管理や活用をワンストップで相談・支援

☎ 空家利活用センター ☎027-898-6081

空き家の管理や活用などについて、ワンストップで相談・支援を行う「空家等管理活用支援法人」を指定しました。市が相談を受け、希望に応じて支援法人を案内します。支援法人へ直接相談することも可能。なお、相談は事前予約が必要な場合があります。



●空家等管理活用支援法人

- ・ 県宅地建物取引業協会 ☎ 027-243-3388
- ・ AlbaLink ☎ 0120-897-461
- ・ 上毛新聞 すみかくらぶ ☎ 027-254-9951
- ・ ネクスウィル ☎ 0120-536-408
- ・ クラッソーネ ☎ 0120-304-395
- ・ 全日本不動産協会 ☎ 027-255-6280
- ・ 空き家価値創造研究所 ☎ 0279-33-9105
- ・ マークスライフ ☎ 050-8893-6722

第2回タウンミーティングを開催しました

☎ 市民協働課 ☎027-898-6644

8月22日にミヤケン元気21にぎわいホールで、タウンミーティング「次世代にも暮らしやすいまちづくり（土地利用のあり方）」を開催。多くの市民が参加し、市長との意見交換を実施しました。

土地利用のあり方について詳しくは本紙8ページをご覧ください。



市民と小川市長が直接意見交換！

市民 土地利用の見直しは必要だと思います。一方で、災害対策や定期的な効果検証を実施し、市民に分かりやすく説明してほしいです。

市長 近年は大雨などによる災害リスクが高まっています。まずは、住んでいる地域の危険性を知り、日頃から備えをお願いします。土地利用の見直しは地域ごとに状況が異なるため、対話の機会や情報発信の充実に取り組みます。

市民 実際には活用されていない農地が増えていきます。今後どのように活用を進めていくのでしょうか。

市長 高齢化や担い手不足による耕作放棄地の増加は課題です。農地の状況を把握しながら次の担い手につなげ、大切な農地を守っていきます。

市民 空家等管理活用支援法人とは、現在の空き家バンクとはどのような違いがあるのでしょうか。

市長 空き家バンクは売買や賃貸につながる空き家を紹介する制度です。一方、空家等管理活用支援法人は、空き家の活用だけでなく、管理や解体に関する相談にも対応し、所有者に寄り添いながらワンストップで支援します。これにより、空き家などの適切な管理や利活用を促進していきます。(関連記事は本紙8ページ)



小川あきらの市長コラム

第一回前橋国際芸術祭 2026 が始まりました。皆さんはもうご覧になりましたか。

前橋は年間を通して、お祭りやイベントの多いまちですが、今年の秋は例年以上にたくさんの催しが予定されています。

10月といえば、何といっても「前橋まつり」です。おみこしや山車、だんべえ踊り、鼓笛吹奏楽パレードなど、まちが大いににぎわいます。参加する人も、応援する人も、みんなで一緒に盛り上げていきましょう。

また、道の駅まえばし赤城では、関東で初開催となる「道ー1グランプリ」が開催されます。全国の道の駅自慢のグルメが集結するイベントです。どんな味に出会えるのか、今から楽しみです。

このほかにも、上毛電気鉄道の創立 100 周

年記念イベントや朔太郎音楽祭 2026 など、秋の前橋は見どころがいっぱいです。敷島公園 門倉テクノばら園の秋のバラフェスタや赤城山の紅葉も、ぜひお楽しみください。

前橋には、まだまだたくさんの魅力があります。地域を元気にする力ぎは、私たち自身が前橋の魅力や地域らしさを再発見し、それをみんなで発信していくことだと考えています。

今年度は、市内外の皆さんが「前橋っていいよね」「ここがおすすめ」「こんなところが面白い」と気軽に交流できるオンラインコミュニティ「SAY MAEBASHI」もスタートしました。

皆さんもぜひ参加して、あなたの好きな前橋、誰かに伝えたい前橋を教えてください。一緒に、大好きな前橋の魅力を広げていきましょう。

